

内航船舶輸送統計速報 (令和 6 年 8 月分)

1. 概況

総輸送量は、23,323 千トン（前年同月比 0.5%減）、11,809 百万トンキロ（前年同月比 2.6%増）であり、大型鋼船は 15,414 千トン（前年同月比 0.6%減）、8,684 百万トンキロ（前年同月比 2.6%増）、小型鋼船は 6,780 千トン（前年同月比 1.4%減）、2,927 百万トンキロ（前年同月比 2.6%増）であった。

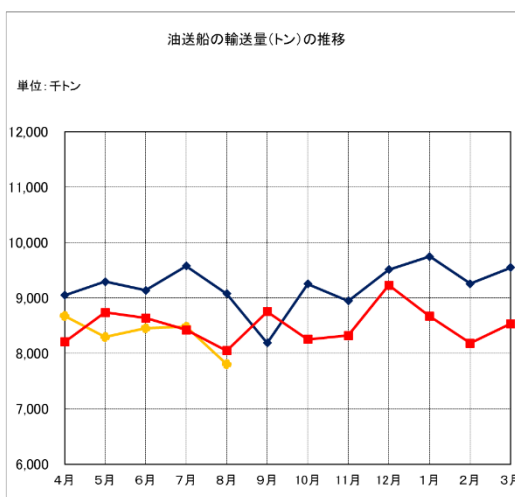
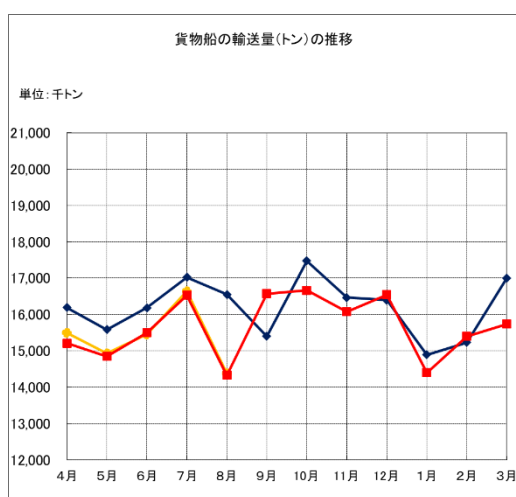
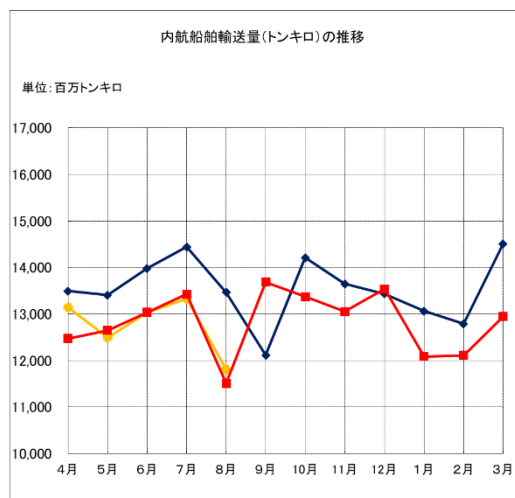
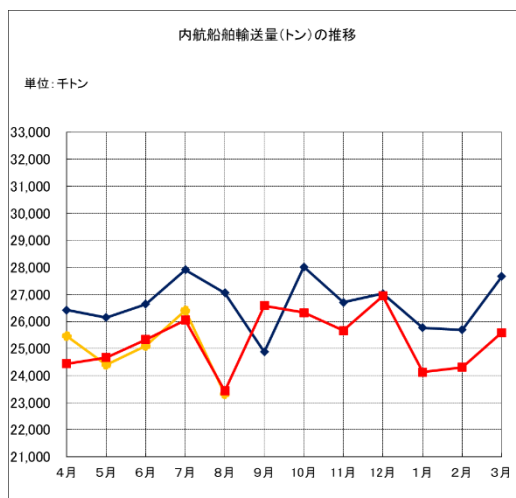
貨物船は 14,385 千トン（前年同月比 0.4%増）、7,611 百万トンキロ（前年同月比 0.2%増）であった。

油送船は 7,810 千トン（前年同月比 3.0%減）、4,000 百万トンキロ（前年同月比 7.6%増）であった。

プッシャーバージ・台船は 1,128 千トン（前年同月比 6.8%増）、199 百万トンキロ（前年同月比 4.0%増）であった。

2. 用途別輸送実績

項 目	トン数 (千トン)	前年同月比 (%)	トンキロ (千トンキロ)	前年同月比 (%)
合 計	23,323	99.5	11,808,995	102.6
大型鋼船	15,414	99.4	8,683,598	102.6
小型鋼船	6,780	98.6	2,926,665	102.6
プッシャーバージ・台船	1,128	106.8	198,732	104.0
貨 物 船	14,835	100.4	7,610,598	100.2
油 送 船	7,810	97.0	3,999,665	107.6
プッシャーバージ・台船	1,128	106.8	198,732	104.0



凡例： ◆ 令和4年度（2022年度） ■ 令和5年度（2023年度） ● 令和6年度（2024年度）

本速報値の総輸送量は、「内航船舶輸送統計調査（基幹統計調査）」の調査対象事業者のうち、一定の期日までに提出のあった事業者の実績を用いて、過去半年分の当該事業者分と全体の輸送量の比率を以て推計した値である。また、全体の輸送量の内訳である用途別については、過去半年分の内訳の比率を用いて按分したものである。

そのため、「内航船舶輸送統計月報」における推計方法とは異なるので留意されたい。なお、確報値は、「内航船舶輸送統計月報」として追って公表する。

お問い合わせ先

国土交通省総合政策局情報政策課交通経済統計調査室

TEL：03-5253-8111（内線 28-748）

担当：染谷、木綿